

## 4. 圏域8の字ルート整備後の影響について

圏域8の字ルートが整備されることにより、経済活動、住民生活等、様々な場面において大きな変化が生じると想定されます。それらの影響について「移動に要する時間の短縮が、圏域の経済活動や人々の生活様式に及ぼす直接的な影響」、「B/Cに現れない整備効果、交流人口の増加や災害時の安定輸送などの間接的な影響」、「国土としての位置づけを含めた、圏域の新たなデザイン」、「SDGs、DXの推進等の現状を踏まえた、カーボンニュートラル、デジタル技術の活用」の4つの視点により、産業、観光、企画部会及び研究会で議論を行い、以下のように整理しました。

### (1) 4つの視点の整理について

区分	1. 移動時間の短縮による直接的効果	2. B/Cには現れない間接的影響
圏域外から人や物を誘引する効果	<p><b>企業誘致</b> ⇒圏域への企業立地における優位性の向上</p> <p><b>雇用</b> ⇒求職者や移住者が希望に沿った業種・職場に就けるチャンス拡大</p> <p><b>物流</b> ⇒圏域内物流の安定性向上と圏域の魅力向上による地域の活性化</p> <p><b>観光</b> ⇒圏域周遊の促進による観光消費の拡大</p>	<p><b>圏域外との交流</b> ⇒交流人口の拡大持続可能な地域活動の確立</p> <p><b>中心市街地の交通混雑解消</b> ⇒中心市街地における都市機能の増進及び経済活力の向上</p>
圏域内の生活の質を向上する効果	<p><b>医療</b> ⇒安全と安心をより高いステージで提供</p>	<p><b>圏域内での交流</b> ⇒交流拡大による地域活動の活性化、市民サービスの効率化</p> <p><b>災害時の対応</b> ⇒助け合いによる災害に強い圏域の実現</p> <p><b>生活環境（自然への影響）</b> ⇒環境負荷の軽減と多様なライフステージへの対応</p> <p><b>住民生活の変化</b> ⇒生きがいの充実</p>

区分	<b>3. 国土としての位置づけを含めた、圏域の新たなデザイン</b>
直接的、間接的な影響による変化	<b>圏域 8 の字ルート整備後の圏域の新たな位置づけ</b> ⇒ 圏域のポテンシャルが十分に発揮される、西日本有数の持続可能な拠点

区分	<b>4. カーボンニュートラル、デジタル技術の活用</b>
新たな技術の導入等による相乗効果	<b>圏域 8 の字ルート整備効果を更に高める画期的な技術の影響</b> ⇒ 高規格道路ネットワークを活用した地方創生の推進 ⇒ 新たな生活圏、経済圏が誕生

圏域 8 の字ルートの整備は、単に圏域内の移動時間が短縮され圏域外から人や物を誘引し、経済活動、観光誘客が活性化するのみならず、圏域内の文化、スポーツ、教育といった多くの分野で交流が促進され、住民生活が充実するほか、圏域外とのつながりが強化され、交流人口の拡大、新たな生活・経済圏の創出の可能性が高まります。

(2) 移動に要する時間の短縮が、圏域の経済活動や人々の生活様式に及ぼす直接的な影響

<b>①企業誘致 ⇒ 圏域への企業立地における優位性の向上</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通アクセスの向上による、物流面やコスト面の効率化</li> <li>・ 港湾、空港、鉄道、高規格道路などの交通インフラの複合的な活用</li> <li>・ 取引先への部材等供給の迅速化、企業間交流が活発化</li> <li>・ 企業進出による、高規格道路の利用促進</li> </ul>

<b>②雇用 ⇒ 求職者や移住者が希望に沿った業種・職場に就けるチャンス拡大</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通勤時間の短縮、就職の選択肢の拡大</li> <li>・ 山陽や大都市圏への労働人口の流出抑制</li> <li>・ 必要な人材を確保しやすくなり、新たな企業進出の増加</li> <li>・ 企業立地が進み、求職者が求める魅力的な雇用の場が創出</li> <li>・ 移住者の移住先・勤務先の選択肢が増加</li> </ul>

<b>③物流 ⇒ 圏域内物流の安定性向上と圏域の魅力向上による地域の活性化</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通渋滞の緩和、輸送費の軽減、定時性の向上といった好循環が発生</li> <li>・ 製品の輸送による損傷減少、販路拡大、収益の増加</li> <li>・ 空路や海路など輸送方法の多角化、新たな物流ルート確立</li> <li>・ 空港で取り扱う貨物の増加による、空港の利活用促進</li> <li>・ 港湾からの大型コンテナ輸送による、物流の効率化や海外への販路拡大</li> <li>・ 生活道路からの車両減少にともなう、歩行者の安全性が向上</li> </ul>

#### ④観光 ⇒ 圏域周遊の促進による観光消費の拡大

- ・観光地間の移動時間の短縮
- ・食事、土産、宿泊といった観光消費拡大
- ・圏域内での滞在時間延長等、来訪者の満足度の向上による、連泊、再来訪
- ・圏域外の観光エリアとの連携強化による、圏域を中心とした誘客エリアの形成
- ・複数の地域で連携した大きな事業の実施
- ・自動車、特にレンタカーを使用する観光客の利便性向上、空港の利用促進

#### ⑤医療 ⇒ 安全と安心をより高いステージで提供

- ・渋滞緩和、救急搬送時の搬送時間の短縮、定時性の確保、安静輸送の確保による、安定した救急搬送体制の確立。
- ・天候により左右されるドクターヘリを補完し、安定した広域救急搬送を行うことが可能
- ・高齢化の進展による高度な医療が受けられる病院への救急搬送件数の増加に対応可能
- ・走行時のストレス軽減、傷病者等への負担軽減により、救急搬送活動を円滑に実施

(3) B/C (走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少) に現れない整備効果、間接的な影響

#### ①圏域内での交流 ⇒ 交流拡大による地域活動の活性化、市民サービスの効率化

- ・圏域内の住民同士の行動範囲や地域間交流が拡大することにより、交流時間が増加し、より深い関係性を構築
- ・団体同士の情報共有や活動が盛んになり、地域活動が活性化
- ・これまで行政単位を基本としていた活動エリアが拡大することにより、文化、スポーツ、社会教育活動を継続していくことが可能
- ・図書館や体育館などの予約システムの統一化を図るところにより、施設の共同利用が促進
- ・行政区域を超えた子育て施設の利用促進

#### ②圏域外との交流 ⇒ 交流人口の拡大による持続可能な地域活動の確立

- ・圏域外からの来訪者と地域住民との交流時間が増加、圏域への興味・関心がより深まる
- ・交流人口から関係人口、定住人口への発展に期待
- ・圏域外の人が、地域づくりの担い手として活躍
- ・交流が増え、「人」に会うための旅行が増え、リピーターが増加
- ・全国規模のスポーツ大会等で、宿泊施設、競技会場、練習会場の選定において、選択肢が増加  
※令和12年(2030)に島根県で、令和15年(2033)に鳥取県で国民スポーツ大会が開催

#### ③災害時の対応 ⇒ 助け合いによる災害に強い圏域の実現

- ・被災地への支援ルートの多重化と到着時間の短縮
- ・行政区域を超えた、支援体制の強化
- ・避難を行う際の道路ネットワークが拡大され、スピーディな避難が可能

- ・大規模災害時の物資輸送等の円滑化による、避難生活の負担軽減
- ・道路ネットワークの多重化を確保することで万が一の原子力災害時に、より安全で円滑な広域避難が可能となり、より有利な避難経路の設定が可能

#### ④ 中心市街地の交通混雑解消 ⇒ 中心市街地における都市機能の増進及び経済活力の向上

- ・交通量の分散により交通渋滞が解消され、中心市街地の利便性が向上
- ・公共交通機関のダイヤ通りの運行が可能となり、公共交通の利便性が向上
- ・都市間移動は高規格道路に振り替えられ、交通渋滞が解消され、生活環境が向上
- ・交通渋滞の解消により、観光客の満足度が向上
- ・企業・集客施設等の新規立地に伴う生産増加や雇用・所得の増加、住居・観光等での魅力向上、市民の暮らしの満足度向上

#### ⑤ 生活環境（自然への影響） ⇒ 環境負荷の軽減と多様なライフステージへの対応

- ・一定速度で走行するため、自動車からの二酸化炭素等の排出量が減少
- ・走行性の高い高規格道路の利用増加により、大型車両が周囲に与える騒音、振動が軽減
- ・圏域内の物流の循環を生むことによって、農産物の地産地消の取組が促進されるなど、フードマイレージの縮小による二酸化炭素排出量の削減効果に期待
- ・圏域外から圏域へ訪問しやすくなり、生活の場として実感し移住定住を検討する機会が増加
- ・圏域内にある多様で豊かな自然環境や居住環境を十分にいかすことができ、UターンやIターンが増加

#### ⑥ 住民生活の変化 ⇒ 生きがいの充実

- ・行動範囲の拡大や移動時間の短縮により職場の選択の幅が広がり、仕事以外に使う時間が増加
- ・子育て世代においては、家族と過ごす時間が増加し、良好な子育て環境を形成
- ・渋滞の解消、通勤時間の短縮による精神的な負担の軽減
- ・通学時間の短縮により、教育の選択肢の拡大
- ・ワークライフバランスの推進による、子育て、介護、地域活動等への積極的な参加
- ・余暇活動が充実した生活スタイルの確立
- ・ウォーキング等による健康寿命増進
- ・グリーンスローモビリティの普及による歩行者の安全性の確保
- ・女性の社会進出の促進

(4) 国土としての位置づけを含めた、圏域の新たなデザインについて

**①圏域 8 の字ルート整備後の圏域の新たな位置づけ**

⇒**圏域のポテンシャルが十分に発揮される、西日本有数の持続可能な拠点**

- ・交通に起因した多くの課題が解決され、圏域が一体となった都市機能が拡充
- ・移動時間の短縮による圏域の活性化により、日本海側の拠点地域としての重要性が向上
- ・東アジアのゲートウェイとしての機能強化や東アジア都市との経済交流の促進
- ・圏域内外との交流拡大及び広範囲での経済活動の機会を創出
- ・圏域総生産の引き上げによる、圏域住民の満足度の向上
- ・首都圏と海外のハブとしての機能向上
- ・産業、観光、生活等の様々な場面で、圏域の優位性の向上
- ・海外進出しやすく、新たな企業進出が見込まれる圏域
- ・全国有数の自然環境や観光資源を生かした、リモートワークやワーケーション等の拠点
- ・国内外に向けた西日本の経済・物流の拠点

(5) SDG s、DXの推進等の現状を踏まえた、カーボンニュートラル、デジタル技術の活用

**①圏域 8 の字ルート整備効果を更に高める画期的な技術の影響**

⇒**高規格道路ネットワークを活用した地方創生の推進**

⇒**新たな生活圏、経済圏が誕生**

- ・再生エネルギーを活用した脱炭素を推進する企業の誘致、電気自動車や自動車の自動運転による二酸化炭素の排出量の削減を高規格道路ネットワークの整備と組み合わせることにより、より効果的、効率的にエネルギー分野における産業構造や社会基盤の変革を促し、脱炭素社会への転換を促進
- ・自動車の自動走行は、自動車専用道路を前提とした場合には、自動運転が実用化段階に至っており、交通事故の削減、高齢者や過疎地域等での移動手段の確保、バス及びトラックドライバー等の慢性的な人手不足の解消など様々な交通課題を解決するとともに、社会や産業構造に大きな影響を与え、圏域の地方創生実現に大きく寄与するものと期待
- ・移動時間の短縮や走行継続距離の延伸に加え、デジタルを活用したワーケーション、二地域居住といった新たな生活様式が普及することにより、圏域以外との関係性が強まる
- ・高規格道路等での自動車の自動走行が実現すると、地域間の移動の利便性が向上し、新たな地域との文化・芸術・スポーツ等の交流をもたらすほか、ビジネスチャンスが拡大し新たな商圏の形成を図ることができる
- ・SDG s、DX、GXの視点により、高規格道路ネットワークの活用を検討することにより、産業・観光振興、環境保全、住民サービス等様々な分野における課題解決に向けた可能性が拡大

○自動走行の区分

レベル	概要	運転操作の主体
レベル0 運転自動化なし	自動運転する技術が何もない状態。	ドライバー
レベル1 運転支援車	システムがアクセル・ブレーキ操作またはハンドル操作のどちらかを部分的に行う。	ドライバー
レベル2 運転支援車	システムがアクセル・ブレーキ操作またはハンドル操作の両方を部分的に行う。	ドライバー
レベル3 条件付自動運転車 (限定領域)	決められた条件下で、全ての運転操作を自動化。ただし運転自動化システム作動中も、システムからの要請でドライバーはいつでも運転に戻れなければならない。	システム (システム非作動の場合はドライバー)
レベル4 自動運転車 (限定領域)	決められた条件下で、全ての運転操作を自動化。	システム
レベル5 完全自動運転車	条件なく、全ての運転操作を自動化。	システム

出典：2020年12月公表国土交通省資料

○自動運転が開発されている目的・メリット

自動運転の主な目的・メリットは以下のとおりです。

1.交通事故の削減 自動運転の安全性の向上による、人的ミスや前方の情報不足等に起因する交通事故の削減
2.渋滞の解消・緩和 交通流の円滑化を実現するための最適な走行を実現することによる、渋滞の解消や大幅な緩和
3.環境負荷の軽減 不要な加減速の低減、空気抵抗の低減、渋滞の抑制等による、燃費の向上やCO <sub>2</sub> の削減効果
4.高齢者等の移動支援 運転負荷を大幅に軽減することで、高齢者や体の不自由な方の移動を支援し、移動機会を創出
5.運転の快適性の向上 運転負荷を大幅に軽減することにより、長距離の移動でも疲労が少なく移動
6.運転手不足へ対応 乗務員が不要となる又は乗務員にこれまでと同様の運転技術が求められなくなるなどにより、トラック、バス等の運転手不足の課題に対応
7.カーシェアの利便性向上 カーシェアに自動運転技術を組み合わせることで、駐車場への回送を自動化でき、駐車場が近辺に存在する必要性がなくなるなど利便性が向上